

J-クレジット制度 排出削減プロジェクト 妥当性確認報告書

プロジェクトの名称：

地域バイオマスを利用したバイオマスボイラによる木材乾燥事業

妥当性確認 機関名	ビューローベリタスジャパン株式会社
--------------	-------------------

発行日 2016年 8月 25日

1 妥当性確認機関の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

※ 「判断の根拠」に関する項目については、根拠としたプロジェクト計画書等の章番号、該当頁等を記載するとともにその妥当性について記載すること。(以下、本文書を通じて同様)

機関名称	ビューローベリタスジャパン株式会社
判断の根拠	プロジェクト関係者に対する利害関係がないことを、契約レビュー時にチェックシートで確認を行っている。 担当審査員に対しては、妥当性確認業務の依頼時に、利害相反がないことを確認している。

2 プロジェクト実施者の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

<p>プロジェクト代表実施者 ※プログラム型プロジェクトの場合、「プログラム型運営・管理者」を記載すること。</p>	<p>有限会社 川井林業 代表取締役 澤田 令</p>
<p>プロジェクト実施者（代表者以外） ※プログラム型プロジェクトの場合、「削減活動の実施者」を記載すること。</p>	<p>(なし)</p>
<p>低炭素社会実行計画への参加実態 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること</p>	<p><input type="checkbox"/>整合している <input type="checkbox"/>整合していない <input checked="" type="checkbox"/>該当なし</p>
<p>温対法特定排出者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること</p>	<p><input type="checkbox"/>整合している <input type="checkbox"/>整合していない <input checked="" type="checkbox"/>該当なし</p>
<p>省エネ法報告対象者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること</p>	<p><input type="checkbox"/>整合している <input type="checkbox"/>整合していない <input checked="" type="checkbox"/>該当なし</p>

	載すること	
<p>妥当性確認手続</p> <p>※現地審査の実施有無について記載すること</p> <p>※また、実際に実施した手続、スケジュールについて、サンプリング手法も含めて記載すること</p>		<p>■現地審査を実施した（2016年6月27日に訪問）</p> <p>□サンプリングで現地審査を実施した（ 年 月 日に訪問）</p> <p>□現地審査を実施していない</p> <p>・妥当性確認計画の策定（2016年6月22日）</p> <p>・文書審査（2016年6月20日～24日） プロジェクト概要の把握、リスク評価 現地審査スケジュールの策定</p> <p>・現地審査（2016年6月27日）</p> <p>・妥当性確認結果の評価・報告書作成（2016年6月28日～8月19日）</p> <p>・社内レビュー（2016年8月22-24日）</p>
<p>修正・指摘事項及び解決方法</p> <p>※4における結果を総括し、排出削減量又は吸収量に影響を与える可能性のある、主な指摘事項について記載すること</p>		<p>・ベースラインのLPG 焚蒸気ボイラの効率は代表的なボイラメーカー3社の同等出力規模の最高効率機の平均値に見直し、適切に修正されたことを確認した。（97.7%→98.0%）</p> <p>・LPG 及び軽油の低位発熱量基準のCO2 排出量を算出するに当たり、保守的に有効数値3桁とし、適切に修正されたことを確認した。</p> <p>・蒸気の使用量算出時の給水量(m³)の密度補正が省略されていたが、適切に修正されたことを確認した。（26,984.0 t/年→26,010.4 t/年）</p> <p>・蒸気の加熱前後のエンタルピー差の算出に当たり、蒸気圧力、給水温度の操業実績変化を保守的に選定し、エンタルピー差が適切に修正されたことを確認した。（2,412.6 kJ/kg→2,337.7 kJ/kg）</p> <p>・製材工場より発生する削り屑を燃料定量供給装置へ空送する燃料空送装置（18.5kW）が付随的排出源に含まれておらず、適切に追加修正されたことを確認した。</p>
	確認結果	<p>■無限定適正 □不適正 □意見不表明</p>
<p>妥当性確認結果</p>	<p>意見・結論</p> <p>※4における結果を総括し、確認結果における意見の理由を記載すること</p>	<p>事業者が作成したプロジェクト計画書は、プロジェクト事業の要件を満たしており、プロジェクト計画書の誤りの合計値が重要性の基準値（5%）未満であることが確認された。したがって、全ての重要な点において適正であると認める。</p>